

2018年9月20日

関係各位

(公社)全日本鍼灸学会 JLOM 部

齊藤宗則、村瀬智一、和辻 直

支援団体：JLOM鍼灸代表者会議(仮)

- ・全日本鍼灸学会、・日本伝統鍼灸学会
- ・日本鍼灸師会、・東洋療法学校協会
- ・全日本鍼灸マッサージ師会
- ・鍼灸学系大学協議会

国際疾病分類(ICD-11)フィールドテストご協力のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2018年6月18日に世界保健機関(WHO)は国際疾病分類の第11版(ICD-11)を公表し、初めて伝統医学の分類が導入されました。現在、2019年5月のWHO総会での正式採択に向け、その使用実績が求められています。

今回、日本提案の経絡病証に関するフィールドテストを行い、来年3月に日本WHO国際統計分類協力センター会議に報告することとなりました。つきましては概要を以下に示します(詳細は別紙)ので、ご多用とは存じますが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、本調査はJLOMが伝統医学領域の分類の責任団体として参画する日本WHO国際統計分類協力センター会議からの依頼を受け、JLOM鍼灸代表者会議(仮)の承認を経て、(公社)全日本鍼灸学会JLOM部が中心となって実施するものです。 敬白

記

【目的】 鍼灸臨床における ICD-11 経絡病証の使用状況を調査する。

【対象】 鍼灸臨床において経絡病証と判断できる患者(同一患者の同一主訴は1回のみ入力)のうち、データ提供に同意を得た者

【方法】 インターネット上での入力フォームにデータを入力する。

URL <https://goo.gl/forms/oVU2zRDW3iXk5EP62>

【期間】 調査期間は10月1日～12月31日。

【項目】 年齢、性別、主訴、病名(必須：経絡病証、任意：西洋医学病名)、ICD-11コード(選択：アルファベットと数字で表記された疾病の分類)
※今回の調査では経脈病証の使用状況の集計に焦点を当てているため、その他の病証については、記載しないようお願い致します。

【提出】 調査協力者の氏名、臨床拠点(都道府県名)、メールアドレス、所属

[判断方法]今回は、主訴の部位を基準に、各経脈の流注(走行部位)を参照し、関連の深い経絡病証を判断する。

[入力内容例]年齢 48歳、性別 女性、主訴 肩痛、

診断名 経絡 肺経病証、西洋 上腕二頭筋長頭腱炎、コード SG20

【照会先】 JLOM 支援団体 東洋療法学校協会 担当 松峰理真

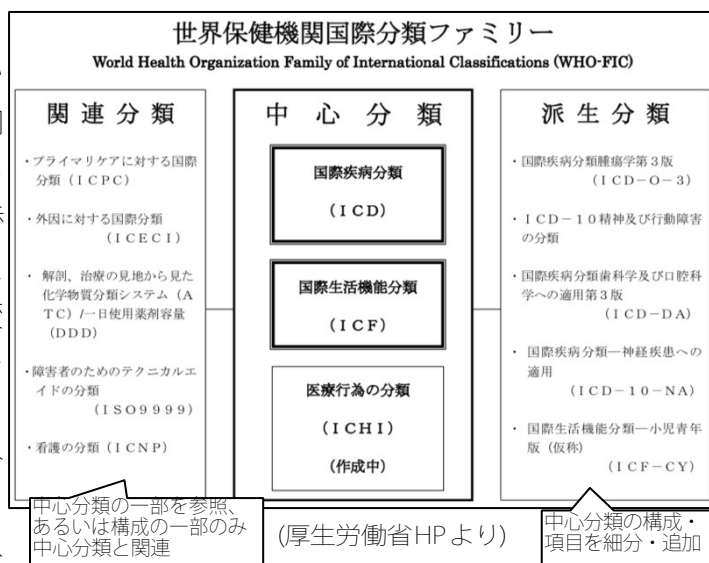
field-t@toyoryoho.or.jp

以上

ICD-11 について

1. WHO-FIC とは

WHO（世界保健機関）は保健関連の課題について、原因を調査し、その内容を記録したり、実施した介入等について、進捗状況を監視し、評価したりするために、国際比較可能な標準化されたデータベースが重要であるとし、保健分野に関する分類体系を提示している。これが世界保健機関国際分



類ファミリー(WHO-FIC:WHO Family of International Classifications)で、中心分類にICD(国際疾病分類)やICHI(医療行為の分類)が位置づけられている。

2. ICD（国際疾病分類）とは

International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems（疾病及び関連保健問題の国際統計分類）の略称で、WHO(世界保健機関)の報告により、国際的に統一した基準で定められた死因及び疾病の分類を指す。世界共通のコード（例：SG20）で国際比較が可能である。

日本では、公的統計(人口動態統計、患者調査、社会医療診療行為別調査等)の診療報酬明細書、電子カルテ、DPC(診断群分類・包括評価)等における死因・疾病分類として広く利用されている。

3. ICD-11 改訂のポイント

ICDの第11版(ICD-11)が2018年6月18日(ジュネーブ時間)に公開された。<https://icd.who.int/dev11/l-m/en> ICD-11は、2019年5月のWHO総会で正式に採択される予定である。改訂のポイントは、以下の通りである。

- ①初めて「伝統医学」章を導入、
- ②新知見を導入、
- ③他にプライマリケア、臨床、研究等の使用目的を想定、
- ④内容(疾患概念)を含めた情報体系である、
- ⑤電子環境活用を前提とする。

伝統医学は、第26章として追加され、病名と証に大別される。(内容や構成は、来年の正式採択までに修正される可能性がある)

	英語名	邦訳案
	26 Traditional Medicine conditions - Module I	伝統医学の病態
■	Traditional medicine disorders (TM1)	伝統医学の病
	Organ system disorders (TM1)	臓腑の病
	Other body system disorders (TM1)	その他の人体系病
	Qi, blood and fluid disorders (TM1)	気血津液の病
	Mental and emotional disorders (TM1)	情志の病
	External contraction disorders (TM1)	外感病
	Childhood and adolescence associated disorders (TM1)	小児および思春期の病
■	Traditional medicine patterns (TM1)	伝統医学の証
	Principle-based patterns (TM1)	八綱病証
	Environmental factor patterns (TM1)	外感病証
	Body constituents patterns (TM1)	人体構成要素の病証
	Organ system patterns (TM1)	臓腑病証
	Meridian and collateral patterns (TM1)	経絡病証
	Six stage patterns (TM1)	六経病証
	Triple energizer stage patterns (TM1)	三焦病証
	Four phase patterns (TM1)	衛気営血病証
	Four constitution medicine patterns (TM1)	四象体質

例 1) SE90 Qi deficiency pattern (TM1) (邦訳案：気虚証)

コード 名称 伝統医学を示す

Description: “A pattern characterized by decreased vitality, fatigue, weakness, appetite loss, short breath, no desire to speak, spontaneous sweating, or feeble pulse. It may be explained by decreased or insufficient quantity of qi.”

(邦訳案：活力低下、倦怠感、虚弱、食欲減退、息切れ、懶言、自汗、虚脈を特徴とする証。気の失調、または気の不足によるとされる。)

例 2) SG20 Lung meridian pattern (TM1) (邦訳案：肺経病証)

Description: “A pattern characterized by distention and fullness in the chest difficulty in breathing, cough and pain in the supraclavicular fossa. Symptoms and signs include pain and flow reversals along the inner aspect of the arm and heat in the palms, pain in the shoulders and back. It may be explained by Lung meridian dysfunction.”

(邦訳案：この病証は、胸が膨脹として脹満し、呼吸困難で、咳嗽と鎖骨上窩の痛みを特徴としている。症状と徴候は、上肢前面外側にそっての痛み、手掌の発熱、肩背部の痛みがある。これは肺経の異常と説明できる。)

以上